

# 電機・情報ユニオン

2013年8月10日 第23号  
 発行 **電機・情報ユニオン**  
 〒105-0004 東京都港区新橋4-24-3  
 エムエフ新橋601  
 Tel&Fax 03-6450-1777  
 Email: denkiunion@gmail.com

## ルネサスの退職強要にストップを オール電機労働者の力で「事業上解雇」の阻止を

### 退職強要の実態

「むさしNet 第141号」から転載

**降格され退職強要!**  
 Aさんは6月21日、課長級から総合職への降格の内示(8月1日実施)を受け、降格者が早期退職対象者になるとの説明を受けました。(この取り扱いは、全社方針にそつての施策)。  
 Aさんはその後2回も直属部長と面談し、部長から「残っても仕事はないから視野を広く持ちキャリア相談(ペソナ等)をするように」残りたいとの強い意志はわかるがそれだけでは難しい。会社はそこまで追い詰められている「など強い退職勧奨を受けました。Aさんは、2007年に退職強要を受けた時に、ELICNECのHP「4ヶ条や面談の心得」が退職強要をはね返す支えになった。今後もリストラが続くと思われ、相談メー

**事業上解雇を言い出す**  
 Cさんは7月9日(水)、部長から面談を受け「間接員が多いので5人に2人が早期退職の対象となり、目標に達しなければ事業上の解雇となるが法的には問題ない」とし、さらに「事業上解雇になればそれから仕事を探す上で非常に大きなリスクになる」と脅迫まがいの説明をしてくれています。  
 その上で「今回の早期退職優遇制度はラストチャンス」とまで言う始末です。2回目の面談日も指定されており、労働組合の真摯な対応が求められています。

ルネサスエレクトロニクスグループでは、2010年の会社統合後としては3回目となる早期退職を実施しており、7月初めから40歳以上の社員に対する個人面接が行われました。  
 今回は、おもに管理職を中心とした総合職などを対象にして三千数百人募集としています。  
 管理職は、8月1日付の人事異動で1298人が総合職に降格させられ、貴方には仕事が無い」

**相談が相次ぐ**  
 ホームページの労働相談からのメールや事務所へ申し入れました。  
 8月1日(木)〜7日(水)を受付期間としていましたが、面談での応募が「目標の40%となっている」状況と言われ、会社は8月5日(月)にルネサス労組本部に「月末までの募集期間延長」を「事業上解雇の実施」を申し入れました。

**事業上解雇」を許すな**  
 整理解雇は、1987年に沖電気が強行して以降、電機では、職場の力  
 への電話で、相談が相次いで寄せられています。8月12日(金)、14日(土)、28日(月)に相談会を行いました。  
 今後も8月17日(土)に第2回「交流&相談&検討会」を行うなど、切実な相談にこたえていく体制を強めています。

で許していません。  
 ルネサスの「事業上解雇(整理解雇)」を許せば、電機で働く労働者の雇用を大きく脅かす道を開きます。  
 ルネサス労組、電機連合はもちろん、電機で働くすべての労働者の力を結集して「事業上解雇」を阻止していくことが求められています。

### 全労連の支援で、全国宣伝

米田徳治中央執行委員長は7月26日(金)、全労連に出向き、ルネサス全国事業所の宣伝行動への支援要請を行い、具体化をはかりました。

### 第23号の紹介

- 1面 ルネサスの退職強要にストップを
- 2面 日本無線は雇用と地域経済を守れ  
米田委員長メッセージ⑩
- 3面 非核の世界を願い  
東京→広島コースを通し行進  
第5回中央執行委員会
- 4面 交流のひろば、告知板